

Ⅲ わくわく問題（教科横断型問題）について

○問題の内容

- ・教科の枠を超えた、日常の活動や現代的な諸課題（SDG s、プログラミング的思考）等をテーマにした問題
- ・文章やグラフ、リーフレット等の様々な資料を題材とし、問題をつかみ、資料を読み取ったり思考したりして、自分の考えを表現する力を問う問題

○今年度の出題の特徴

- ・問題1は、児童にとって身近な「大阪湾」を題材とし、基礎的な読み取りの力を問うとともに、読み取った内容に基づいて思考し、自分の意見を持つ態度を育てることを目的として出題されている。
- ・問題2は、先進技術の中でも身近なものになりつつある自動運転車を取り上げ、論理的思考力を問うとともに、複数の資料を関連させながら読み取る中で、技術と生活との関係に対する知識や関心を持つことを目的として出題されている。
- ・問題3は、学校生活における課題の改善を題材とし、課題解決のための考えや手立てを相手にわかりやすく伝えることを目的として出題されている。

○問う力の観点

- ・児童が、多様な他者と協同し、探究的な学習を進め、生きる力を伸ばすために必要な力として、以下の5つの観点に整理されている。

- A：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる
- B：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える
- C：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える
- D：図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える
- E：興味・関心のある事गरらについて、意欲的に工夫して相手に伝える

○豊中市の強み・課題、指導改善のポイント等の解説について



- ・豊中市の子どもたちの強みや課題について示すとともに、課題の解決に向けた授業改善や取り組みのポイントを示しています。

5・6年生 わくわく問題（教科横断型問題）

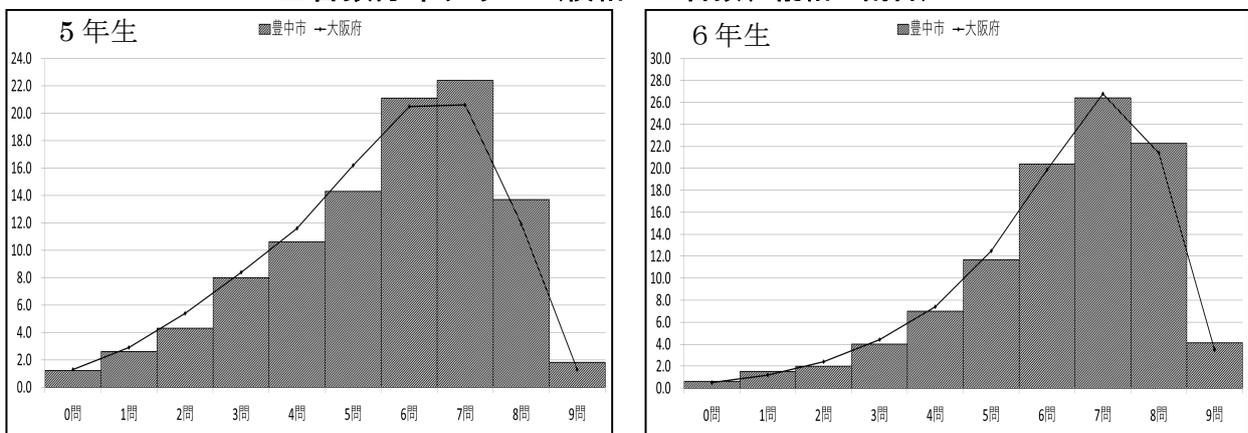
【5年生・6年生に見られる強み】

- ・多くの問題において大阪府の平均正答率を上回っています。
- ・B「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けてそれをもとに論理的に考える観点」やD「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けてそれをもとに自分の考えをまとめ伝える観点」の問題において、特に正答率が高くなっています。

【5年生・6年生に見られる課題】

- ・E「興味関心のある事गरらについて意欲的に工夫して相手に伝えることや自身で考えたことを伝える観点」の問題において、大阪府の平均正答率を下回っています。

正答数分布グラフ（横軸：正答数、縦軸：割合）



5・6年生ともに、総問題数9問中、正答数7問を頂点とする右寄りの山型に分布している

○【観点A】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、正しくとらえる」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市 (公立)		大阪府 (公立)	
			5年	6年	5年	6年
1 (1)	「豊かな海 大阪湾」の記事を読み、その記事に最もふさわしい資料を1つ選択する	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・会話から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・選択式 	5年	80.7	78.5	78.5
			6年	87.9	87.8	87.8
2 (2)	「自動で働く車」について、資料1、資料2からわかることとして正しいものを1つ選択する。	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・選択式 	5年	8.7	8.9	8.9
			6年	11.9	10.8	10.8
3 (1)	【表】学校生活の中で気になることについて適切に分類し、そこから考えた【伝えたいこと】をまとめる	<ul style="list-style-type: none"> ・文章から読み取る ・図や表から読み取る ・資料の情報を整理して伝える ・記述式 	5年	6.2	5.2	5.2
			6年	6.6	7.4	7.4

【できている・概ねできている】

1 (1) 文章から適切な資料を選ぶ。

【課題が見られる】

2 (2) 2つの資料を比較しながら、情報を整理して正しく読み取る。

3 (1) 表で示された多様な考えを基準に沿って分類し、抽象化する。

課題があった問題（問題2（2））

■『「自動で動く車」の分類について』『日本で一年間に生産される「自動で動く車」の台数』という2つの資料から情報を読みとり、正しい内容を選択肢から選ぶ問題

② たかしさんは、プレートの命令に従って自動で走るミニカーのコースを作って遊ぼうとしています。次の【説明書】には、ミニカーの進み方が書かれています。

(2) たかしさんは、ミニカーで遊んだあと、実際に人が使うため開発が進む「自動で動く車」について調べ、次の資料1を見つけました。

次に、たかしさんは、「自動で動く車」が日本でどのくらい作られているのかを調べ、次の資料2を見つけました。

資料1 【「自動で動く車」の分類について】

「自動で動く車」は、運転の一部を車が助けてくれる「運転を支援する車」と、すべての運転を車が行う「自動運転車」の大きく2つに分かれます。

		内容
自動で動く車	運転を支援する車	アクセル※、ブレーキ、ハンドル操作のうち、一つまたは、複数車を進行。 【例】 ・前の車にぶつかりそうときにブレーキ操作を自動で行う。 ・高速道路で、車線の中央を走るようにハンドル操作を自動で行う。 ・高速道路で、一定の速さで走るようにアクセル操作を自動で行う。
	自動運転車	すべての運転を車が行う。 ただし、高速道路など特定の場所でしか自動運転ができないなどの条件がある車もある。

※アクセル…ペダルをふむと車が加速する装置。

資料2 【日本で一年間に生産される「自動で動く車」の台数】

	2015年	2019年	2025年 (予想)	2030年 (予想)
運転を支援する車	265万台	535万台	886万台	756万台
自動運転車	0台	0台	4万台	83万台

(富士キメラ総研「車載電装デバイス&コンポーネンツ総調査」により作成)

問い 資料1、資料2からわかることとして正しいものを、次のアからエまでの中から1つ選びましょう。

ア 「自動で動く車」は、2015年には生産されていない。

イ 「自動で動く車」の生産台数は、2019年と比べると2030年は、304万台増えることが予想される。

ウ 「運転を支援する車」の生産台数は、2015年と比べると2030年は、3倍以上増えると予想される。

エ 2025年と2030年の予想生産台数を比べると、「運転を支援する車」は増えるが、「自動運転車」は減る。

【正答例】

・イ と解答しているもの

正答率

5年生：豊中市 8.7% 大阪府 8.9%

6年生：豊中市 11.9% 大阪府 10.8%

■豊中市で多かった解答例

・アと解答しているもの

(反応率：5年生 59.7% 6年生 54.3%)

このように解答している児童は、「自動で動く車」と「自動運転車」を混同している可能性がある。2つの資料から、「自動で動く車」が「運転を支援する車」と「自動運転車」からなること、自動で動く車」と「自動運転車」が別のものであることを理解したうえで、資料2を読み取る必要がある。

※ 反応率…その解答類型に分類される回答をした児童の割合

課題があった問題（問題3（1））

■会話文と表をもとに学校生活における課題の改善を題材とし、課題解決のための考えや手立てを相手にわかりやすく伝えることを目的とした問題

③ 児童会のまことさんたちは、学校生活をよりよくするために、みんなに気をつけてもらいたいことを全校集会で伝えることにしました。その内容を考えるために、学校生活の中で気になることをそれぞれ出してもらい、下の【表】に整理しました。

【表】 学校生活の中で気になること

名前	気になること
まこと	・朝、「おはよう」とあいさつしても返してくれない ・教室でボールを投げている人がいる
リリアン	・帰りの会の後、「さようなら」を言う人が少ない ・ろう下でぞうさんが落ちている
けんた	・ろう下を走っている ・学級のボールが乱暴に使われてバグっていた
さとみ	・学校へ来たお客さんに「こんにちは」と言わない ・休けい時間に使ったボールを決められた場所に戻していない
ひかり	・教室のロッカーからランドセルが落ちている ・図書室の本に落書きがされていた



まこと

【表】学校生活の中で気になることを見ると、出てきた意見は4つに分けられそうだね。

じゃあ、4つに分けてみて、そこから伝えたいことを考えようよ。



リリアン

まことさんたちは、出された意見を4つに分け、そこから考えた【伝えたいこと】を次のようにまとめました。

【伝えたいこと】

- ① あいさつをしよう
- ② 片づけをしよう
- ③ みんなのものを大事に使おう
- ④

(1) 問い 【伝えたいこと】の④ の中に入るふさわしい言葉を考えて書きましょう。

【正答の条件】

資料の内容を適切に分類して説明しているもの

【正答例】

- ・危ない行動はやめよう

正答率

5年生：豊中市 6.2% 大阪府 5.2%
6年生：豊中市 6.6% 大阪府 7.4%

■豊中市で多かった解答例

- ・意見を分類できているが、個々の状況を説明しているもの（準正答）
（反応率：5年生 55.4% 6年生 65.0%）

このように解答した児童は、表で示された多様な考えを、基準に沿って分類することはできているが、その共通点を考え抽象化して答えることに課題がある。表から読み取ることのできる内容を、適切に文章で表現することが必要である。

改善に向けて

複数の情報を適切に読み取るためには、複数の情報を関連付けながら整理して読むことが重要です。そのために、まずは、表を読み取る際に、この表は何を表しているのか、表題や項目にも注意して正しく把握することが必要です。また、一人一台端末の学習ツールの活用、XチャートやYチャートなどのシンキングツールの活用、付箋の活用や普段のノート指導等により、多様な意見を整理する場面を設定することや、スローガンや標語などを考える活動を通して、様々な意見をわかりやすい短い言葉に過不足なくまとめる活動を設定することも大切です。

○【観点B】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに論理的に考える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)		正答率(%)
1(2)	資料からわかることをもとに、「キジハタのとれた量」と「放流した数」という2つの言葉を使って、「キジハタの栽培漁業」の記事の続きを書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 資料の情報を整理して伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	41.8	36.1
			6年	49.3	47.5
2(1)	【説明書】を読み、【条件】で与えられたプレートを過不足なく使い、★の位置でミニカーを停止させるコースを考え、プレートのマークを書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 資料の情報を整理して伝える 図や表に表す 	5年	65.8	61.9
			6年	73.4	72.7

【できている・概ねできている】

- 1(2) 与えられた資料からわかることをもとに、適切な文章を書く。
- 2(1) 与えられた情報を理解し、条件に沿って論理的に考える。

○【観点C】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに新たな課題を考える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)		正答率(%)
1(3)	リーフレットを読み、「海のごみ問題」について記事を書くとともに、「5年生のみんなに」の部分に海をゴミから守る呼びかけを適切に書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 資料の情報を整理して伝える 自身で考えたことを伝える 記述式 	5年	87.9	86.3
			6年	92.2	91.9
3(2)	学校生活をよりよくするために、【伝えたいこと】を選び、選んだ内容について守ってほしい理由を考えるとともに、呼びかける文章で書く	<ul style="list-style-type: none"> 会話から読み取る 図や表から読み取る 自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	59.7	56.2
			6年	70.2	68.5

※観点Dの欄へ記載

○【観点D】「図や表、グラフ、短い文章、会話文等の内容を関連付けて、それをもとに自分の考えをまとめ、伝える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)		正答率(%)
1(2)	資料からわかることをもとに、「キジハタのとれた量」と「放流した数」という2つの言葉を使って、「キジハタの栽培漁業」の記事の続きを書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 資料の情報を整理して伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	41.8	36.1
			6年	49.3	47.5
1(3)	リーフレットを読み、「海のごみ問題」について記事を書くとともに、「5年生のみんなに」の部分に海をごみから守る呼びかけを適切に書く	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 図や表から読み取る 資料の情報を整理して伝える 自身で考えたことを伝える 記述式 	5年	87.9	86.3
			6年	92.2	91.9
2(3)	複数の資料(資料1、資料2、資料3)をもとに、日本で「自動で働く車」が増えていけば交通事故の数がさらに減るとする考えの理由として適切な内容をかく	<ul style="list-style-type: none"> 文章から読み取る 会話から読み取る 図や表から読み取る 自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	41.1	37.5
			6年	52.0	51.3
3(2)	学校生活をよりよくするために、【伝えたいこと】を選び、選んだ内容について守ってほしい理由を考えるとともに、呼びかける文章で書く	<ul style="list-style-type: none"> 会話から読み取る 図や表から読み取る 自身で考えたことを伝える 理由や根拠を明確にして伝える 記述式 	5年	59.7	56.2
			6年	70.2	68.5

【できている・概ねできている】

- 1(3) 資料の内容をもとに、関心を持った内容について、文章の流れに沿って書く。
- 2(3) 複数の資料(テキスト・表・グラフ)から、説明に必要な情報を取り出し、提示された考えに沿った理由を書く。
- 3(2) 図や表、会話文から読み取り、自分が【伝えたいこと】を1つ選び、理由を明確にして文章表現を工夫する。

○【観点E】「興味・関心のある事からについて、意欲的に工夫して相手に伝える」に関する問題

問題番号	問題の概要	問題の趣旨・形式	豊中市(公立)		大阪府(公立)
			正答率(%)		正答率(%)
3(3)	自分自身が生活の中で気になっていることについて、解決するための行動を具体的に書く	<ul style="list-style-type: none"> 会話から読み取る 自身で考えたことを伝える 記述 	5年	75.7	78.3
			6年	85.1	86.9

【課題が見られる】

- 3(3) 学校に関わる事からについて興味や関心を持ち、他人に伝えたいことを考えて表現する。

課題があった問題（問題3（3））

■会話文と表をもとに学校生活における課題の改善を題材とし、課題解決のための考えや手立てを相手にわかりやすく伝えることを目的とした問題

3 児童会のまことさんたちは、学校生活をよりよくするために、みんなに気をつけてもらいたいことを全校集会で伝えることにしました。その内容を考えるために、学校生活の中で気になることをそれぞれ出してもらい、下の【表】に整理しました。

【表】 学校生活の中で気になること

名前	気になること
まこと	・朝、「おはよう」とあいさつしても返してくれない ・教室でボールを投げている人がいる
リリアン	・帰りの会の後、「さようなら」を言う人が少ない ・ろう下にぞうさんが落ちている
けんた	・ろう下を走っている ・学級のボールが乱暴に使われてパンクしていた
さとみ	・学校へ来たお客さんに「こんにちは」と言わない ・休けい時間に使ったボールを決められた場所に戻していない
ひかり	・教室のロッカーからランドセルが落ちている ・図書室の本に落書きがされていた



【表】 学校生活の中で気になることを見ると、出てきた意見は4つに分けられそうだね。

まこと

じゃあ、4つに分けてみて、そこから伝えたいことを考えようよ。



リリアン

(3) 問い 今度は、あなたが生活の中で気になることを1つ書きましょう。また、あなたが考えた、気になることをどのようにして解決しようと考えますが、解決するために取り組んでみたいことを書きましょう。

【正答の条件】

次の条件を全て満たして解答しているもの

- ①生活の中で気になっていることを書いている
- ②気になっていることを解決するための行動を、具体的に書いている

【正答例】

(気になること)

- ・通学路にゴミが落ちていること。
(取り組んでみたいこと)
- ・町の清掃活動に参加したり、登校する際にごみ袋を持ってごみを拾いながら登校したりしたい。

正答率

5年生：豊中市 75.6% 大阪府 78.3%
6年生：豊中市 85.1% 大阪府 86.9%

■豊中市で多かった解答例

- ・条件①を満たし、条件②を満たさないで解答しているもの (反応率：5年生 4.5% 6年生 3.2%)
- ・無回答 (反応率：5年生 12.0% 6年生 8.0%)

このように解答した児童は、生活の中で気になることを考えることはできているが、気になっていることの解決に向けて自分のやろうとする行動について具体的に書き出すことに課題がある。また、無回答の児童の割合が多いことも課題である。

改善に向けて

学習と生活や社会のつながりを実感する機会として、主体的に考え、話し合ったことを、自分たちの生活に生かしていくという学習過程を意識的に設定することが必要です。教科等の学習だけでなく、特別活動においても、主体的・対話的で深い学びの実践を進めることは、学びに向かう力の涵養にもつながると考えられます。

また、話し合いにおいては、一人一台端末を使ったり、シンキングツールを活用したりすることで、思考を可視化・操作化・構造化しやすいうようにすることが重要です。